

-Dream Girls-

# 夢遊少女

作：別役慎司  
(2011)

■登場人物

- ・安城美麗 (19)  
あんじょうみれ
- ・瀬良翔子 (21)  
せらしょうこ
- ・柏木鈴 (16)  
かしわぎりん
- ・錦戸水蝶 (44)  
にしんずいちょう
- ・田之上久美 (36)  
たのうえくみ
- ・松野力 (27)  
まつのちから

## SCENE1

玩具が散乱する白壁の部屋「遊戯部屋」。  
下手側にガラス窓とドアが一つある。隣の  
部屋には椅子があり、そこから白壁の部屋  
の様子全体を見ることが出来る。

「遊戯部屋」に、美麗と翔子がいる。翔子  
は悲しそうにうつむいている。

**美麗** ところで、玩具ってなんのためにあるか知  
ってる？ あなたに先に使い道を教えておいた  
方がいいよね。(手近の玩具を一つを取る) まず  
は基本的な使い道。

美麗、玩具を床に打ち付ける。ピクツとす  
る翔子。

**美麗** 八つ当たりを使う。壊してもいいんだよ、  
善意の人がたくさん送ってくれるから。応用は  
ね、玩具をサインとして使うの。(下手の部屋を  
指して) 向こうの部屋の人はすぐに理解してく  
れるから。

美麗、おもちゃ箱をひっくり返す。

**美麗** 例えば、こんな風にしたら、「私はイライラ  
しています」「外に出たいです」ってサインね。

美麗、椅子に座り、翔子をじつと見る。

**美麗** あなた、いじめられっ子？ 多いんだよね、  
いじめられっ子。ここにはいないけどね。でも、  
安心して。あなたをいじめたりしないから。と  
はいえ、ごめんね、あたしの八つ当たりで巻  
き込まれたら。それはいじめじゃないから。こ  
の部屋のせい。あなたもこの部屋は居心地が悪  
いでしょ？ 来たばかりでわからない？ 教え  
てあげる。この部屋は居心地が悪いわ。OK？  
だからあなたが八つ当たりをし始めても無理は  
ないから。そのことは前もって理解しておいて  
あげる。それより、あたし、この部屋をねえ、  
カラオケルームにしてるの。毎日歌ってるの。  
誰も使っていないから。うまいんだよ。だって、  
歌手の卵だもん。これでも事務所所に所属してた  
んだよ。ねえ、嘘だと思ってる？ (翔子をじつ  
と見る)

**翔子** (微妙に首を振る)

美麗 あなた、あたしの顔見ないなんて変わって

る。もしかして嫉妬してる？ そんなことじゃあたしの友達にはなれないよ？ あゝあ、でもあなたが来たら、あんまり歌えないなあ。だって、邪魔をしちゃうでしょ？ あなたがあたしの歌を聞きたいってなら別だけど。ねえ、あたしの歌聞きたい？（翔子を間近でじつと見る）

翔子 ……

美麗 あなた無口だわ。事務所じゃありえない。

そんなことじゃ、全部仕事持つて行かれるわよ！ ああ、もうつ。なんで、あたしはここにいるの。あたしは安城美麗よ！ 安城美麗は芸能界で活躍してないといけないの！

しばらく、あちこちする美麗。そのうち座り込んで、うなだれる。

そこに錦戸と松野が現れる。

松野 寝たんですか？

錦戸 ええ。正確には、さっきのも寝ているの。

この子はずっと寝たまんま。

松野 起きているようにしか見えませんね。

錦戸 不思議なことだね。脳波はノンレム睡眠の

ときとさして変わらないわ。

錦戸、ドアを開けて、中に入る。

錦戸 どうぞ。

松野 あ、大丈夫ですか……？

松野も中に入る。

錦戸 （翔子に）ごめんなさいね。来てすぐなのに。途中で起こすのは危険なのよ。

翔子 大丈夫です。

松野 危険というのは？

錦戸 この状態は、眠っている隙に自我が一人歩きしてるようなものなの。自我は抑圧された感情を抱えてるから暴力的で、無理に起こして引つ込ませようとすると乱暴を働くのよ。海外ではこれで殺人事件が起こったくらい。

松野 はあゝ。

錦戸 （優しく翔子の前に来て、肩に手を置く）

ありがとう、我慢してくれて。怖かったでしょ？

翔子 いえ……でも……

錦戸 ん？

翔子 わたしも……こんな感じだったってことで

すよね？

錦戸 あなたの場合は……（少し考え）乱暴を振るうことはなかったと聞いているわ。大丈夫、ちゃんと治るから。

錦戸、翔子の両手を取って握る。そのとき、翔子の袖がめくれ、自傷の跡が見える。思わず、「うっ」と反応する松野。

錦戸 ……。

看護婦の田之上がやってくる。

田之上 先生、ベッドの準備ができました。

錦戸 じゃあ、連れて行きましょう。

錦戸と田之上、美麗を抱きかかえて、連れて行くようにする。

松野 あ、手伝います。

田之上 大丈夫です。仕事ですから。

松野 あ……。

錦戸と田之上は、美麗を連れて行く。

松野 （気まずさを感じながら）あ、そうだ。（名刺を取り出し）ジャーナリストをやっています。松野力というものです。色々取材させて頂くことがあると思いますが、よろしくお願いいたします。（翔子に名刺を差し出す）

翔子 ……（名刺を受け取る）。……異常な人を、取材されているんですか？

松野 いやいやそういうわけじゃ。錦戸先生の仕事ぶりというか……ほら、夢遊病の研究って珍しいから。

翔子 わたしのことが、どこかに書かれるんですか？ 困ります。

松野 あ、もちろんその場合は個人を特定できないように書くし、原稿も見せて、問題ないかチェックしてもらおうので。

翔子 あ……わたし、すぐに退院して、仕事を探さないといけないので、それに影響することは困ります。

松野 あ、大丈夫です、大丈夫……。

短い間。

松野 就職するんですか？

翔子 苦勞してやっと就職できたばかりだったんです。それなのに……。

松野 ああ……。それまでは、異常はなかったの？

翔子 (異常という言葉に胸を締め付けられる思いをしながら) はい……。突然で……。

錦戸と田之上、戻ってくる。

田之上 翔子ちゃん、お部屋を案内しますね。それから、病院の規則も順々に説明しますからね。

錦戸 ここでは身の回りのことは全部田之上さんが面倒見てくれるから遠慮なく頼るといいわ。

翔子 はい。

田之上 まずはストレスで乱れてしまった睡眠も含め、規則正しい生活に戻さないとね。

翔子 ……はい。

田之上 じゃあ、行きましょう。

翔子 あの、先生。

錦戸 なあに？

翔子 わたし……長くなりそうですか？

錦戸 まだなんともいえないわね。でも、症状が出なくなったら、すぐに退院させるわ。

翔子 (少しほっとして) よろしくお願いいたします。

田之上、翔子、去る。

松野 彼女は？

錦戸 会社で居眠りしたときに出てしまったそうよ。

松野 はあ。

錦戸 頑張り屋さんなのよ。緊張とプレッシャーの中、毎日過酷な仕事に従事して、寝不足からつい居眠りをしたのね。そのとき、違う何かが目覚めてしまった。

松野 違う何かってえらい表現ですね。

錦戸 本人にとつてはえらいことよ。

松野 そうでしょうけど。彼女は、暴れたりはず……どんな感じ？

錦戸 ……わたし、取材つてよくわからないけど、どこまで知りたいの？

松野 あるがままを許されるだけ。

錦戸 わたしの私生活まで？

松野 まさか、そこまでは。

錦戸 あなた、変わった人つていわれる？

松野 え？

錦戸 以前にもどこかでお会いしたわよね？

短い間。

松野 長曾ヶ部純菜の葬儀でお会いしています。

間。

錦戸 あら？ 知りたいのはそこ？ ジャーナリ

ストとかいって、本当は刑事さん？

松野 いえいえ。実は、彼女について調べている内にあなたにたどり着いて。

錦戸 昔診ていたことがあるけれど、3〜4年も前の話よ。

松野 ええ、わかっています。

錦戸 そのあと、どこかの病院に移ったのよね。

松野 越合総合病院です。お母様が移させたそうです。

錦戸 わたしの診断結果に不満だったから。

松野 お母様はヒステリックになっていたようですよ。

間。

錦戸 過去は過去、今は今。過去に興味があるのなら、この病院には現れないで。休診の日で

も、話に付き合うわ。

錦戸、背を向け、出て行く。

松野 ……錦戸水蝶。あなたなら、彼女を救えたかもしれない。

音楽。

暗転。

## SCENE2

同じ場所。

田之上が玩具の片付けをしている。

田之上 あ。

いきなり思い立ってテレビをつけ、即座にチャンネルを合わせる。韓流ドラマがやっている。

リモコンを持ったままテレビを凝視している田之上。

そこに翔子が現れる。

翔子 田之上さん。

田之上 (慌ててテレビを消し) あら、翔子ちゃん。  
ん。

翔子 検査結果、先生が問題ないって本当ですか？  
田之上 ああ、ポリグラフ検査の？ そうよ、脳波や呼吸に大きな乱れはないわ。アルファ波の量が普通の人より多く出る周期があるけど、悪いものじゃないから。

翔子 よかった。じゃあ、すぐに退院できそうですか？

田之上 もう少し、様子を見ないとダメね。

翔子 (がっかりして) そうですか。

そこに満面の笑顔で美麗が現れる。びくつとする翔子。

美麗 翔子ちゃん、あーそーぼ！

翔子 安城さん。

美麗 美麗でいいって。田之上さんも遊ぶ？  
流ドラマ観てもいいよ。 韓

田之上 あたし韓流ドラマ嫌いなよ。

美麗 よく見てるじゃん！

田之上 あれは睨んでるの。

美麗 睨んでるんだ！

田之上 そ。

翔子 あの、わたし、勉強しないといけないから。

美麗 田之上さん、なんであたし避けられてるの？

翔子 いや……！

田之上 翔子ちゃんは、資格を取りたいのよ。勉強の邪魔しちゃダメよ。

美麗 せっかく友達ができたのに。(翔子に)ねえ、ちょっとだけ。ちょっとだけおしゃべりしましよ？ 30分ぐらいでいいの！ 30分付き合ってくれたら、あとはここで歌でもうたってる。

翔子 それくらいなら……。

田之上 じゃあ、わたしは隣の部屋にいるわ。

田之上、部屋を出て行き、隣の部屋の椅子に座る。

美麗と翔子もクッションの上に座る。

美麗 まだ全然ゆっくり話したことがないんだもん。今度あたしの部屋にも遊びに来てよ。

翔子 うん……。

美麗 なんの資格を勉強してるの？

翔子 簿記。

美麗 へー、なんか難しそう。翔子ちゃんって短  
大行ってたんでしょ？ どうだった？ 楽しか  
った？

翔子 うん……まあまあ。

美麗 あたしは、入院する前なにやってたかわか  
る？

翔子 タレント……。

美麗 え、当たり前。なんで？ ああ、さつき、「歌  
うたう」っていったから？ すごい、ハンパ  
ないね？

翔子 ……。

美麗 ん？

翔子 あ、ごめん

美麗 早く退院できないかな。受けたいミュージ  
カルのオーディションがあるんだよね。

翔子 活動的だね？

美麗 うん、あたし動いてないとダメなんだよね。

しかもあたしもう19だからさ、焦っちゃうん  
だよ。TVであたしより若い子なんていつば  
いいるもん。

翔子 わたしも違う意味で焦ってる。

美麗 なにに？

翔子 早く再就職しないと、親に迷惑掛けてばか  
りいられないし。履歴書にキズ残しちゃってる

し。なんとか資格でも取ってキャリアを上げな  
いと。

美麗 真面目だね。そっか、仕事してたんだ。

翔子 2ヶ月だけけど。

美麗 いや、でもお金を稼ぐってすごいと思うよ。

翔子 うーん、わたしももっと簡単だと思ってた。  
仕事してみても自己嫌悪の連続。世の中出来る人  
いっぱいいるもん。

美麗 負けちゃダメなんだよ。自分に負けたら妥  
協しか生まれないよ？

翔子 わたしは美麗ちゃんみたいに強くないよ。

美麗 そんなことないよ！

翔子 先生にも、頑張らないようにいわれてるの。

美麗 まあね。それはね。あたしはね、「張り切る」  
っていつてる。

翔子 いい言葉だね。

美麗 頑張るの「頑」ってさ、「かたくな」って意  
味じゃん。それはダメだと思うんだよね。だか  
ら、「頑」を捨てて、「張り」だけを「切り」取  
っちゃえばいいと思うんだ。

翔子 あー、なるほど！ すごいすごい。ホント  
にそうだね？

美麗 でしょでしょ？

翔子 美麗ちゃんって、この病院は長いの？



美麗 ん、それでも。二回目なんだ。前は、睡眠障害者の入院施設なんてなかったから、精神科のだったけど最悪だった。病んでる場合じゃないと思つたよ。

翔子 へへ。そういえば、ここ新しいもんね。

美麗 錦戸先生は精神科も見てるけど、あたしたちの病気の専門家だからね、研究も兼ねて新しく……

そこに松野が現れる。

松野 こんにちは。

美麗 あ。変なおじさんが来た。

田之上 松野さん、あまり頻繁に来られては。

松野 すぐに帰ります。

松野、遊戯部屋に入る。

松野 どうも。

美麗 おじさん、先生のストーカーなんでしょ？

松野 違います。

美麗 でもストーカーの顔してますよ。

松野 失礼な。

美麗 部屋に帰ろ。

松野 安城さん、長曾ヶ部純菜って人のこと知ってますか？

間。

美麗 ……。

松野 知ってますか？ やっぱり、同じ時期に入院していたんだ。

美麗 入院？ 芸能人の誰かだと思った。(翔子に) 翔子ちゃん、お部屋で話さない？

松野 ぼくも行つていいかな？

美麗 いいわけではないですよ、変態、ロリコン。

松野 う……傷つく。

美麗と翔子、去る。

うなだれる松野。田之上、遊戯部屋に入り、そこにあるバービー人形を取って、松野に差し出す。

松野 ちよ、やめてください！

音楽。

暗転。

### SCENE3

錦戸と松野。二人、病院内の喫茶室でコーヒーを飲んでいる。

錦戸 あなた、純菜のなんなの？

松野 なんなのといますと？

錦戸 ストーカー？

松野 違います。

錦戸 ロリコン？

松野 あなたまでいいますか。違いますよ。彼女の……元担任です。

錦戸 担任？

松野 はい。高一のときに受け持っていました。

錦戸 そうなの？

松野 ご存じかわかりませんが、そのときに学校内で傷害事件を起こして。ぼくは責任を感じて教師を辞めました。傷害事件というのが……

錦戸 なるほど、見えてきたわ。

松野 ……ぼくの授業じゃなかったの、直接見ているのですが、授業中に居眠りをしていたら、突然起き出しておかしなことをしゃべり始め、先生が注意したら、今度はカッターを振り

回したということです。先生を含め、何人かケガをしました。本人は、ほとんど覚えてなかったんですよ。

錦戸 それが、夢遊病ではということね？

松野 はい。

錦戸 でも、夢遊病……睡眠時遊行症というのはノンレム睡眠時によく起こるものなの。それは個人差はあるけど通常寝てから1時間以上経ってから。授業中については随分長く寝てたのね。

松野 元担任のぼくがいうのもあれですが、彼女はイジメを受けていて、机に突っ伏していることが多かったんです。他の先生方の間でも無視を決め込んでいる方が多くて……。

錦戸 まあ、そんなものでしょ。

松野 恥ずかしいことに、ぼくは逃げ腰になって、傷害事件のあと、一方的に教師を辞めてしまいました。学校側はその後、病院に入院することをご父兄に強く薦め、越合総合病院に彼女は入りました。

錦戸 おかしくなったときに、どんなことを喋っていたか記録してる？

松野 え？

錦戸 どんなことを喋っていたの？

松野 いや、なにやらわけのわからないことを喋っていたと……。

錦戸 そこがダメなのよ。

松野 ダメとは？

錦戸 おかしな行動に出たときに、理解の出来ない、異常な振る舞いで片付ける。なにか病名をあてがって、異常さを正当化したらそれで安心する。彼女が唯一救われるヒントを「わけのわからないこと」といつて片付けてしまう。

松野 ……なにか、ヒントがあったんですか？

沈黙。

松野 やはり、錦戸先生のところへ入院させるべきでしたね。すぐに辞めてしまったぼくにも責任が……。

錦戸 彼女のお母様が特に睡眠時遊行症という診断を嫌がったから、お母様の意志でしょう。娘がそんな特異な病気であると認めたくなくなつたみたい。

松野 なるほど。病気であることさえ否定する節はありませんね。

錦戸 病気というのvoudうかと思うけどね。

松野 え？

錦戸 松野さん。睡眠時遊行症を、ただの特異な病気だと思わないことです。……たぶん、いづれ大変な事実を知ることになるわ。

松野 ……と、いいますと？

間。

錦戸 そういえば、今度純菜の友達が再入院をするわ。純菜と一番近かった子が。

松野 ……。

風の音。強くなるとともに溶暗。  
柏木鈴のシルエツトが浮かぶ。  
暗転。

#### SCENE4

遊戯部屋。椅子に座っている柏木鈴。うつむいている。

鈴 (ぶつぶつと) ……み……みず……の……なが……れに……いくばしよ……なし……かえる……ばしよ……

美麗と翔子が駆けてくる。

美麗 鈴ー！

鈴 お姉ちゃん！

二人、抱き合う。

美麗 また会えたね！

鈴 うん！

美麗 こんなところで会ってちやいけいないんだけどね。(翔子に) 翔子ちゃん、この子が鈴。昔の病院で一緒だったの。

翔子 よろしく。

美麗 (鈴に) 彼女は翔子ちゃん。入院してまだ

一週間くらいなんだよ。

鈴 よろしく。あなたも……？

美麗 うん。夢遊少女(ドリームガール)だよ。

翔子 ドリームガール？

美麗 そ。昔の病院で、あたしと鈴と、あともう一人の女の子が夢遊病患者で、三人でドリームガールズっていつてたんだ。

翔子 へー。

鈴 純菜ちゃん死んじゃったね。

美麗 うん。どうしようもないことだよ。

鈴 わかつてる。

翔子 えっと……立ち入っちゃいけない感じ？

美麗 ううん。あたしと鈴は知っていたから大丈夫。

夫。

翔子 知っていた？

美麗 あたしたちは夢遊病歴が長いから。

翔子 ごめん、話がよくわからない。

美麗 翔子ちゃんもじきにわかるようになるよ。

夢遊病が治らなければね。

翔子 えー、それは嫌だ。

鈴 ねー、お姉ちゃんは芸能人になったの？

美麗 半分まではね。でも、いいところでさ、人

前でやっちゃつ……

突然、部屋内のおもちゃ箱から松野が出てくる。

松野 ちよつと待った！

悲鳴をあげる三人。

松野 さっきの話は気になるぞ！

美麗 変態！ ストーカー！ 田之上さん、変な

おじさんがいます！

鈴 この人なに？

美麗 変なおじさんなの！

松野 待った待った。さすがにハートがすすり泣くぞ。

駆けつけてきた田之上。

田之上 何事ですか？

翔子 あの人が隠れてたんです。

田之上 なにしてるんです。

松野 ただ待つのも面白くないかと思つて……

田之上 ずっと隠れてたんですか？

松野 そんなことより、(美麗の両肩に手を置き)

君はやっぱり長曾ヶ部純菜のことを知ってるんだね！

美麗 (松野の頬をひっぱたき) セクハラ。

松野 今のセクハラ？

田之上 松野さん、警備員呼びますよ。

松野 ちょっと待ってください。安城さん、彼女のことを教えて。「知っていた」って、なにを知っていたの？

錦戸が現れる。

錦戸 なんの騒ぎ？

田之上 先生、この方がセクハラと盗撮を。

松野 してないしてない！

錦戸 この変態教師が。

松野 違いますって！ もう……！

鈴 泣いてる……。

松野 さすがに涙ぐみますよ！ 先生、ちゃんと

取材させてくださいよ。

錦戸 あんたが勝手に評判を落としてるんじゃないか。まあ、いいよ。この男はわたしが引き取るから、あんたたちは遠慮なく遊んでな。

錦戸、松野の首根っこをつかんで、遊戯部屋の外へ連れて行く。

松野 扱いが……。

錦戸 (松野に) 今晚よ。夜10時に来なさい。

松野 え……。

錦戸 見たいならね。

松野 (二度頷く)

風の音。

鈴 お姉ちゃん、風が……強く吹いてるよ。

暗転。

## SCENES

下手の部屋に小さな明かり。遊戯部屋は、暗くがらんどろ。

錦戸が下手の部屋の椅子に座っている。

松野が缶コーヒーを持ってやってくる。

松野 どうぞ。(缶コーヒーを渡す)

錦戸 ありがとう。

松野 結構冷え込みますね。風も強いですし。

錦戸 ……。

松野 柏木鈴って子は、入院は2度目なんですか？

錦戸 6度目。

松野 そんなに。よくなってないんですか？

錦戸 年齢とともに出なくなるものだけど、根本

的には治らない。

松野 そうなんですか。

錦戸 だから、病気というのvoudうかと思うといったの。規則正しい生活をしている分にはいい

けど、ストレスが溜まってくると、睡眠の周期が乱れて、普段自我を支えている理性が弱くなるのよ。一番弱くなるのが眠ってから1、2時間後。

松野 ノンレム睡眠？

錦戸 そう。その一番深いとき。そのとき、自我が勝手に身体を使い始める。

松野 恐ろしいですね。

錦戸 解明しきれいていない分野だね。身体は筋肉は適度に動かす必要があるから、寝ているときに勝手に動くという説もある。

松野 寝返りとかの激しいバージョンですか？

錦戸 だけど、会話をしたり、目を開けて対象を認識するのは明らかにその説を越えているじゃない？

松野 そうですね。

錦戸 わたしの唱える自我の暴走説も、まだ受け入れられてはいないの。自我そのものが解明しきれていないからね。

松野 うくむ。

錦戸 そして……。

間。

錦戸 美麗と鈴と純菜……ドリームガールズと呼んでたこの三人は、世界的にも非常に稀なタイプ。

松野 と、いいますと？

間。

錦戸 あなたが見ることが出来れば、おのずとわかるわ。

松野 ……楽しみですね。

錦戸 そうなったら、あなたにも手伝ってもらわないと。

松野 ……？

錦戸 来たわ。

パジャマ姿の美麗が現れる。そして、遊戯部屋に入っていく。

松野 ここにいて大丈夫なんですか？

錦戸 話しかけたりしなければ平気よ。起きているときと違って、認識している領域が狭いみたい。その分、領域内には強い集中力を発揮するわ。

美麗、テレビをつけ、チャンネルを変えていく。

美麗 ブスばかり。才能もないくせに。クソね。

テレビを消す。人形をつかみとって、口汚い言葉で罵る。そして、松野の前に来て、ガラス越しに松野を睨む。

松野 え……すごい、見られてますけど。

錦戸 大丈夫よ。

美麗 あたしを出して！ 出して、出して！

松野 先生……。

錦戸 いいのよ、今はこうやって発散することも大事。

美麗 (松野に人形をつきつけ) 出さないと、この子を殺しちゃうよ！

松野 なんて、ぼくにいうかな……。

美麗 (人形の首を取る) ほら、死んじゃった。

人形を放り捨て、クッションに頭を突っ込んでうなり始める。

錦戸はそんな様子をカルテに記入している。

松野 あ……新しい子が来ました。

パジャマ姿の鈴が現れる。

錦戸、鈴のカルテも開く。

鈴が遊戯部屋に入る。

錦戸 さて……、どうなるかな？

松野 どうしてこの部屋に？

錦戸 発散したいとか、友達に会いたいとか、普段から望んでいることが暗示のように働いてここに来るみたい。

鈴は、異世界でも歩いているように、一人きりの世界をさまよっている。

鈴 (ぶつぶつと) ……風が吹いて……木が倒れる……うう……親がいなくて……子もない………迷い人が……消えて……なくなる。

松野 彼女は、またちよつと違いますね。

錦戸 美麗は抑圧した自我を解放させる感じだけど、鈴の場合は、消えかかった自我が消えまいとさまよう感じね。はっきり言いたいことを言っただけ、変わってないわね。

パジャマ姿の翔子が現れる。

松野 あれ。今度は瀬良さんが。

錦戸 本当だ。あの子は、まだ一度もなかったのに。あの子は、どんなタイプかしら。

翔子、遊戯部屋に入り、部屋の隅っこで座り、しくしくと泣き始める。

錦戸 不安や自信のなさを垂れ流す感じね。

松野 ……なんというか、胸が締め付けられる光景ですね。

錦戸 ある意味、酔っぱらいが集まった感じじゃない？ (翔子のカルテを取ってくる)

松野 (力が抜けて) 先生……。長曾ヶ部はどんなタイプだったんですか？

錦戸 あの子は、勇ましいくらい男っぽい自我。弱い自分を否定する衝動から形成されたんですよ。

松野 そうか……それで……。

ナース姿の田之上が現れる。



松野 え？ あの看護婦さんが来ましたよ！ あの人も夢遊病だったんですか？

田之上 夜勤です。

松野 あ、ごめんなさい……。どうぞ、座ってください。

田之上、椅子に座り、松野は立って様子を窺う。

田之上 シンクロ……するでしょうか？

松野 シンクロ？

錦戸 純菜は、もういないのよ。

美麗 (鈴に気づいて、しばらく見つめたあと) こんばんわ。

鈴 (美麗を見て) こん……ばんわ。

松野 話し始めましたよ。

美麗 (鈴に近づいて) どうだった？

鈴 さい……あく。

美麗 (鈴を抱き締め) つらかったでしょう。

鈴 ジュンナが……。

美麗 うん、逝ったね……。

鈴 逝った……言った通りに……。

松野 ……これ、話しかけちゃだめですか？

錦戸 気持ちはわかるけどだめよ。

美麗 あの子が望んだことよ。あたしたちは生きていきましよう。

鈴 うん……でも、もう無理かも。

美麗 まだそんなこといつてるの？ 本当に無理なことなんて絶対はないよ。リン……あんたは全てにおいて無理だと思ってやってる。どうせやるなら、できると思ってやりなさい。無理矢理にでも。(翔子を見て) 紹介するわ。(翔子の横に行き) ショウコ。ドリームガールズの新メンバーだよ。あんた、泣いてるの？

翔子 (ばつと顔を上げ) 嬉しいの。だって、外に出られるんだもん。(立ち上がる) ぞくぞくする。しかも、話せる仲間がいるんだもん。ドリームガールズ、最高ね！

錦戸 違った。躁鬱分離型かしら？

松野 なんです、それ？

錦戸 普段が鬱だとすれば、躁の部分自我が司ってるのよ。

翔子 (ミレと握手し) よろしく。(リンと握手し) よろしくね。

田之上 あら、でも仲良くやれそう。

翔子 ここなら思う存分羽を伸ばせるわ。

美麗 向こうの部屋の人に抑えられるのがオチだよ。

松野 ……！

翔子 (ガラスの向こうをちらっと見て) それはそれでいいわ。

美麗 あなた、どうやって出てきたの？

翔子 この子、ウジウジウジウジしてるでしょ。全部我慢し、なにもかも無茶をし、怯え、挫け……もうやんなるの。だから、会社にいるときに、わたしが全部ぶちまけてやったのよ。すつきりしたわあ。

鈴 すごいなあ。

翔子 なのに、もっとウジウジウジウジ。いやんなっちゃう。あなたたちは？

鈴 わたしは、身体が弱いから、よく寝込んでるって……ずっと寝ちゃって……

美麗 起きる意志がないからリンが代わってるんでしょ？

鈴 わたしも、消えたいんだけど……。でも、授業中にベランダに出て風と話をしたのは楽しかったなあ。

翔子 わお。

鈴 それから……校庭に穴を掘って自分で自分を埋めたり……

翔子 素敵。

鈴 そうかな？

美麗 独創性があるよね。

松野 なんか……ついていけません。

翔子 (美麗に) あなたは？

錦戸 貴重よ。

田之上 こんなに会話になるなんて、すごいですね。ドリームガールズ復活だあ。

美麗 あたしは、結構人格を表に出してるからね。

松野 ……人格。

錦戸 ……。

美麗 ただ、売れていくためにはかわいい子ぶらなといけないしき。マジでセクハラとか普通にあるし、タレントになりたい反面葛藤があるんだよね。こんなクソな世界本気で目指しているのかってさ。いい子ちゃんやってくバランスをあたしが取ってあげないといけないのよ。

翔子 そっかあ、色々あるんだね。なんか嬉しいな、わたしだけじゃなくて。ジュンナって子はどうだったの？

松野 おっ、聞いてくれ。

美麗 ジュンナは、ね？ (鈴を見る)

鈴 イジメ。

翔子 多いね。

松野 中学の時のことか……？

美麗 そんなで仕返しを常に考える自我が育ったの。

マジで刃物への執着がハンパなかった。でも、それを先生が抑え込んだのよ。(ガラスに近づき、錦戸を見て) ね？

錦戸 (コクコクと頷く)

翔子 そうかあ。

松野 中学の時は、事件は起こさなかったんですか？

錦戸 わたしは切られたことあるけど。

田之上 わたしも……。

松野 う……。

翔子 わたしも抑え込まれるのかなあ？(隣の部屋を見つめる) いっぱい溜まってるとるんだけど。

緊張感で重くなる錦戸たち。

鈴 消えた方が楽だよ。

間。

翔子 (真顔で) そんなことないよ。あー、翔子がつもつとわたしの衝動通りに生きてくれたらいいのに。

鈴 わたしの衝動は……いったいどこにいつちや

ったんだろう？

松野 衝動……。

美麗 まあまあ。あたしたちは生きるために生まれてきたんだ。生きることができなくなったジユンナの分も生きていこうよ。

松野、衝動的に飛び出し、遊戯部屋へ。

錦戸 あ！ おい！

田之上 ダメですよ！

松野 長曾ヶ部は……純菜は……君たちみたいなもう一人の純菜が死に導いたの？

殺気立つ、三人。目つきが変わり、ギリギリと松野に近づく。

松野 う……教えてほしいんだ。彼女は、なんで死ななきゃならなかったのか。ぼくは、彼女の担任だったんだ……！

三人、襲いかかる準備態勢のように力が入る。

錦戸 (ドアの所から) さあ、ベッドに戻ろう、

ドリームガールズ。いい頃合いだ。

間。

三人、松野を睨みながら松野を通り過ぎ、  
錦戸をじつと見つめながら帰っていく。

息をついて、へたりこむ松野。

松野 ふう。怖かった……。

田之上 危ないですよ、松野さん。

松野 いやいや、これでも男ですから。

田之上 寝ている時は潜在意識でセーブされてな

いぶん、普段の2, 3倍は力が強いですからね。

松野 え？

田之上 殴られたら病院行きですよ。ここ病院で  
すけど。

錦戸 無茶をするんじゃないって。

松野 いてもたってもいられなくなつて。

錦戸 少しずつ紐解いていかなきゃ。

松野 はい……。しかし、びっくりしました。夢  
遊病っていうけど、ほとんど起きてるのと変わ

らないように会話をしますね。

錦戸 あの子たちは特別。

松野 思ってたんですけど、多重人格みたいなもの  
ですか？

錦戸 根っこは同じだと見ている。

松野 やつぱり……。もしかしたら、長曾ヶ部も、  
もう一人の自分に殺されたんじゃない。傷害事件も

普通に考えたらあの子がするわけないんだ。

錦戸 バカだね。あれは自我なんだ。あの状態の

方こそ、素直な本人なんだよ。

松野 そんな……。あんなにいい子だったのに。

田之上 いい子だと決めつけ、いい子であること  
を求めすぎちゃいけませんよ。

錦戸 うん。自我は膨張して、行き場のない思い  
によつて凶暴化していく。

松野 そうか……。理解……。してあげられていなか  
ったんだ、ぼくは……。(悔しさに唇を噛む)

錦戸 まあまあ、過ぎたことだよ。(松野の背中を  
ぼんぼんと叩く)

松野 はい……。

田之上 シンクロまでは、いきませんでしたね？

錦戸 日も浅いし。

松野 あれが、シンクロじゃなかったんですか？  
田之上 ええ、もちろんです。シンクロというの  
は……

錦戸 田之上、あの子たちがベッドに戻るまでち  
やんと見ないと。

田之上 あ。すみません……。

田之上、去る。

松野 シンクロというのは……？

錦戸 運が良ければ見られるわ。

錦戸、去る。

松野 ……自殺したとき……どっちの長曾ヶ部だったのだろう？ おそらくは自我の方だ。でないと、あんな死に方はしないはず。でも、本当に……死にたかつたんだろうか？

雨の音。

暗転。

## SCENE6

雨の音は続いている。

遊戯部屋を田之上が掃除している。

田之上 あ。

いきなり思い立って、テレビをつける。  
昼ドラが流れる。じっと見る。

田之上 違う違う。

チャンネルを変えて、天気予報にする。

田之上 いつまで降るのかしら。

テレビを消す。

鈴がやってくる。

鈴 田之上さん。

田之上 ん？ 眠そうね。

鈴 最近雨の日がすごく眠い……。

田之上 雨ってだけで気持ち落ちちゃうわよね。

鈴 油断しているとすぐ寝ちやいそう。

田之上 ちよつとだけ寝る？

鈴 でも、また乱れちゃうから。田之上さん、なにか話でもして。

田之上 どんな話を聞きたいの？

鈴 うーんと。田之上さんは、結婚しないの？

田之上 ずーん。(ひどくショックを受けて肩を落とす) はああ……。

すすごと去る田之上。

鈴 あれ……？

鈴は、ちよこんとクッションに座る。

鈴 眠い……。ダメだ……。

鈴、眠ってしまう。  
強くなる雨の音。

そこに、美麗と翔子が仲良くやってくる。

美麗 お。寝てる。無理もないよね、最近ずっと

夜中起き出してる気がするもん。

翔子 はつきりと覚えてはないけど、わたしもそう  
みたい。

美麗 なんとなく夢で思い出すよね。

翔子 うん。会話してるのはわかるけど、何話して  
るんだらう？

美麗 自分のことながらわからん。夢であのスト  
ーカーが出てくるんだだけ？

翔子 ああ、松野さん？ 出る出る。いつもいい

ところで邪魔するんだよね。最近昼間見ないのは、夜見に来てみたいね。

美麗 正真正銘のストーリーカーだ。

美麗と翔子は鈴の横に座る。

美麗 そういえば……シンクロしたときって、雨の日だったなあ。

翔子 シンクロ？

美麗 先生が名付けたんだけど、夢遊状態のとき  
って、自我が起き出して勝手に動いたり喋った  
りするじゃん？

翔子 うん……。

美麗 だけど、三人同時に夢遊状態にいたときに、  
突然自我が同調するときがあるんだって。

翔子 なにそれ？

美麗 あまりに不可思議で、先生は説明がつけられ  
ないっていつてた。

翔子 同調って？

美麗 そのときの記録ビデオを見せてもらったん  
だけど、(三人がより近づくように詰め)こんな  
風に三人寄り添って、語り出すの。まるで三人  
が一つの存在であるように。

翔子 え……？

美麗 気持ち悪いでしょ？ そのときなんだ。「純菜が自殺する」って予言したの。

翔子 なにそれ……予言？

美麗 うん……。あまりに非科学的過ぎて、先生も公にいわなくなっただけ、純菜のお母さんはものすごく毛嫌いして、強制的に退院させちゃったの。

翔子 いったの？

美麗 純菜がね。それ以来、シンクロすることもなくなっただけ、それまでにシンクロで語ったことは、全部的中してるんだって。

翔子信じられない……。

美麗 でも、こんなことが世間に広まったら大変なことになるよね？ あたしもタレントとかやれなくなるし、鈴も精神的に耐えられないと思う。

翔子 わたしだったら……就職できないな。

美麗 先生はシンクロを期待してる。研究の対象だもん。あのストーリーカージャーナリストは、純菜の自殺の原因を知りたいとかいってるけど、本当はどうだか？

翔子 他にはどんな予言があったの？

美麗 田之上さんのお見合いが破談になるとか。  
(吹き出す)

美麗 わかんない。先生が秘密にしてるだけで、もっと重大な予言があったかもしれない。

鈴 (眠そうだが目を開け) ……わたし、覚えてるよ。

翔子 起きてたんだ。

美麗 鈴、あんた覚えてるの？

鈴 うん……全部。

美麗 どうして黙ってたの？

鈴 あのときは、それが現実になるなんて思わなかったもん……。

翔子 他、どんなのがあったの？

鈴 大地震……。

美麗・翔子 え！

美麗 予言してたの……？

鈴 うん。時期はいわなかったけど。

翔子 これ、ものすごい事実じゃない？

美麗 うん！

翔子 どうして公表しなかったのかな？

美麗 いつでも取り合ってくれないでしょ。

鈴 わたしも、友達にいったけど、バカにされた。

翔子 でも、多くの人が助かったかもしれないのに。

美麗 わたしたちにそんな力があったの？ この三人でも予言できるかな？

翔子 えー、恐い。

美麗 やってみようよ、今。今なら、自由時間で先生も精神科の診察に行ってる。

鈴 内緒でやるの？

美麗 そう。わたしたちだけで秘密を共有するの。

鈴 面白そう。

翔子 わたし、そんな大それたことできないよ。

美麗 やって見ないとわからないじゃない。

翔子 できても、仮にもものすごい予言とかしちゃうたらどうするの？

美麗 それはそのとき考えようよ。もしかしたら、いい企業に就職できるとか、歌手デビューできるとか予言するかもしれないじゃない。

鈴 田之上さんが結婚できるとか。

美麗 それはどうでもいいけど。あ、田之上さんどうしよう？ 二時間ぐらい来させないようにしないと。

鈴 お煎餅とドラマのDVDを置いておけば大丈夫。

翔子 そんなのでいいの？

美麗 あたしドラマはDVDいっぱい持ってる。

翔子 すごいね。

美麗 演技の勉強。

翔子 じゃあ、お煎餅はわたしが調達する。

鈴 じゃあ、わたしがそれを持って行く。

美麗 よし。変態ストーカーは来ても夜でしょ。

翔子 ねえ、なにか記録を残せないかな。

美麗 そうだね。わたしも、自分で確認したい。

鈴 あ。(ポケットからボイスレコーダーを取り出す)これ。

美麗 ボイスレコーダー？

翔子 何で持ってるの？

鈴 松野さんが、これを押して純菜ちゃんのことを聞き出してって。

美麗 変態さがハンパないね！ 磨き上がった変態だね！ もうっ、あたしの口癖が「変態」になるくらい変態！

翔子 でも、使えるね。

美麗 この際利用させてもらいますか。よしっ。ニュードリームガールズのシンクロ計画、始動！

音楽。

(お好みで、ストロボを使って、田之上にDVDと煎餅を献上し、遊戯部屋で眠りにつくまでを連続で見せてもよい)

SCENE7



遊戯部屋で川の字になって眠っている三人。  
時計の秒針の音。徐々に大きくなる。  
ゆっくりと身体を起こす三人。  
三人は見つめ合い、ゆっくりと手を繋ぎ、  
輪を作る。  
高まる秒針の音。  
暗転。

## SCENE8

全員いる。深刻な空気。下手側には錦戸、  
松野、田之上。上手側に美麗、翔子、鈴。  
松野の手にはボイスレコーダーが。

松野 ちょっと待ってください。混乱して……予  
言って……ふざけてこんなこと吹き込んだんじ  
やないの？

美麗 ふざけてするわけないよ！

松野 先生？

錦戸 本当よ。純菜がいたときも、三人で夢遊状  
態に入って、それからシンクロし、未来の予言  
を口にした。

松野 そんな……そんなことがあるんですか？

錦戸 特別だっただけでしょ。

田之上 これまでも予言は全部当たってきたので、  
今回のも当たりますよ。

松野 長曾ヶ部が、予言を……？

鈴 純菜の自殺も予言通りです。

松野 ! ……なんか、もう、混乱して。

美麗 どうしますか？ 明らかにこの予言は、今

関係してますよね？

翔子 早く逃げないと。

田之上 ええ、そうです。早く避難しましょう。

錦戸 松野さん。あなたの出番が来たわよ。

松野 え……？

錦戸 この事実をメディアに伝えて。信じてもら  
えないかもしれないけど、笑われるかもしれないな  
いけど、少しでも多くの人に伝えないと。

松野 ……。

錦戸 今日で何日目？

田之上 三日目ですね。

錦戸 あと十日……。

美麗 今ならまだ間に合う。松野さん、あんたこ

こでやらかなきゃ、ただの変態だよ！

松野 ちょっと待って、待って。ぼくは、長曾ヶ  
部のことが知りたいだけだったんだ。そんな重

要な役回りは！

美麗 この変態チキン！

松野 いや、変態でもなんでも、これが的中しなかったらどうするんですか？ せつかくありついた仕事もパーになりますよ！

美麗 あのねえ、あたしだって、タレントになれないかもしれないだよ！

翔子 わたしだって就職できないかもしれない。

美麗 鈴もまたいじめられるかもしれない。みんな覚悟してるの。

錦戸 このまま水没したらみんなが仕事を失うことになる。

松野 仮に的中するとしても、もつと先かもしれない。13日も続かず、明日雨が止むかもしれないじゃないですか？ そうしたらどうするんです？

田之上 じゃあ、「明日止むかも、明日止むかも」といいながら様子を見るんですか？ 手遅れになりますよ？

松野 なんでぼくにばっかりいうんですか！

錦戸 わたしたちもできることはするけど、ジャーナリストのあなたにかかっているわ。

膝からくずおれる松野。ボイスレコーダー

を再生する。

三人の重なった声で、「じゅう……さんにちの雨……水が……頭の上……人が、たくさん……死ぬ」

錦戸 13日もこんな大雨が降り続いたら、川は氾濫し、洪水や土砂崩れで深刻な被害になるわ。

突然笑い出す松野。

松野 皆さん、本当に信じているんですか……？  
こんなこと普通に考えて、あるわけがない。

錦戸 (陰しい表情になり) あるんだよ。

松野 おかしいよ。それなら、もつと世界で例があってもいいんだ。

田之上 この子たちは特別なんですよ。

松野 この子たちだけが世界にも例がない特別で、たまたまここに集まったっていうんですか？

おかしい……おかしいよ！

錦戸 あなたはそうやって認めようとしませんかね。純菜のことも。普通のおとなしい女の子のレッテルを貼って、もつと自分を出せとかいながら、人と違うことをしたら認めない。

松野 やめて……

錦戸 問題視して、貼ったレッテルをもう一度貼り付けようとする。それが正しいことだと思ってる。

松野 なんでぼくが責められるんですか！

錦戸 あんたが逃げようとしてるからだ！

松野 だって、おかしいじゃないですか！

錦戸 理解していないからおかしいと思うんだ！

あんたは逃げたことを後悔して、純菜のことをちゃんと理解しようと踏み出したんだろ？

松野 そうですよ！

錦戸 だけど、心の中では、理解するどころか夢遊病だという特異な病気で片付けて、あの子も非はなかった、自分も非はなかったと思いたいんだ！

松野 やめてくださいよ！

錦戸 だけど、その期待に収まってはくれなかった。

松野 それは認めますよ……！

錦戸 逃げることは認めることとはいわない。

松野 長曾ヶ部のことについては自分の中で整理させてください！……だから、予言のことについてまでは……。

美麗 (松野の胸ぐらをつかんで) ホントにチキンだね！ そりゃあ純菜が学校で苦しむはずだ

よ！(田之上の手を取って) 田之上さん、色んな新聞社や雑誌社に電話かけてみましょう。どこか聞いてくれるかもしれない。

田之上 そうね。

鈴 わたしも行く！

美麗、鈴、田之上とともに急いで退場。翔子も行こうとして立ち止まる。

翔子 松野さん、特別っていけませんか？ わたしも普通でいることが幸せだと思ってきました。

でも、みんな違うように生まれてきて、みんな違う価値観を持って、みんな特別なのが本当は当たり前なんですよ！ 特別な自分を出せない環境こそおかしいんですよ！ そりゃあ勇気がいりますよ。わたしも、こんなこと知られたら就職できないと思いました。でも、勇気を出さなきゃ。わたしに与えられた特別さに感謝しなきゃと思います。……松野さんには松野さんの、与えられた特別さがあるんですよ。

松野 ……。

翔子、行く。

困惑と悔しさと情けなさで涙する松野。

錦戸 ボイスレコーダーを。

松野 ……。

錦戸 大事な証拠だから。それを持って逃げられ  
ちや困る。

松野 ……。

錦戸 あとは任せて。わたしも、大地震をちゃん  
と警告できなかった責任を感じてる。

松野 ……ぼく、なにもできないんです。実は、  
なにもできないんです。ジャーナリストとかい  
って…どここの新聞社とも通信社ともコネがな  
い…ただの自称ジャーナリストなんです。

沈黙。

錦戸 じゃあ、なおさらボイスレコーダーを。

松野 ……勇気も、自信もなくて、一社断られた  
だけでもう諦めちゃって…。

錦戸 ……。

松野 でも、やらせてください…。ぼくが、責  
任を持って、この予言が無駄にならないように  
します。当たって、当たって、当たりまくりま  
す。もう、後悔はしません！ もう、逃げませ  
ん！

間。

錦戸 頼んだ。

松野、走って出ていく。

強くなる雨の音。

錦戸を残し、溶暗。

ボイスレコーダーの音が流れはじめ、雨の  
音は次第に弱くなっていく。

「じゅんなの…遺志が…一人の男を…  
…走らせ…救いに…導く…」

静寂。

幕。

2011

SHINJI BETCHAKU ©